



第98号

令和4年(2022年)

2月20日

発行責任 福岡県古賀市議会

特集

これからの10年間の計画と

第4回定例会の主な審議と補正予算 2～3p



第5次古賀市基本構想を審議 4～5p

賛否一覧 6p

政策推進会議・一部事務組合議会報告 7p

ここが聞きたい! 一般質問 8～12p

常任委員会報告 13～15p

古賀市議会



写真: 櫛田神社のしめ縄を作る最後の1人となった古賀市の農家さん。

82号
議案

総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想

第5次古賀市基本構想

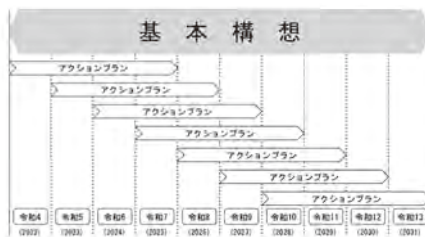
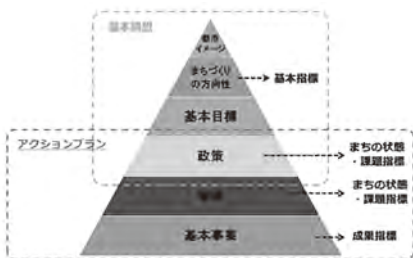
市がめざすべき将来の都市イメージおよびこれを達成するための基本方針

古賀市における最上位計画であり、総合的かつ計画的な行政運営を図るための10年に一度策定される計画の基本構想です。

第5次古賀市基本構想審査特別委員会にて9月から11月までの約3カ月間、全体会、分科会を合わせ18回に及ぶ集中審査を行いました。

次期総合計画はこの基本構想と毎年度見直されるアクションプラン（計画期間は4年間）との2層で

構成されます。これは、社会経済情勢の変化に対応し、実効性・弾力性・即応性を備えた計画とするためです。



付託▷ 第5次古賀市基本構想審査特別委員会 賛成多数 可決

主な
審議

第4回
定例会
(11月30日～12月15日)

第4回定例会

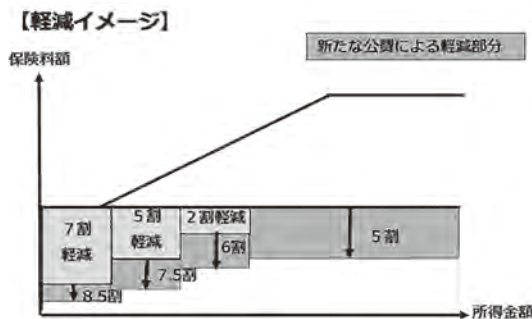
本会議
賛成多数
可決

86号
議案

未就学児の均等割保険料の5割軽減

子育て世帯の経済的負担軽減

法律の改正に伴い、国民健康保険の保険料について、未就学児に係る被保険者均等割額の5割を公費により軽減します。



付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

87号
議案

自転車通行帯等の構造の基準を追加

自転車通行帯設置による道路構造基準改定

自転車通行帯に係る道路構造の一般的、技術的基準を定めるため古賀市道路構造の基準に関する条例の一部を改正します。それに伴い、後牟田大池線に古賀市初の自転車通行帯が整備されます。



付託▷ 市民建産委員会 賛成全員 可決

本会議
賛成全員
可決

98号
議案

令和3年度古賀市一般会計補正予算（第7号）追加

国の制度に沿った子育て世帯への支援策です。対象児童の保護者に対し児童1人当たり5万円の子育て世帯への臨時特別給付金を支給します。

本会議
賛成全員
可決

令和3年 第3回臨時会(12月17日)

99号
議案

令和3年度古賀市一般会計補正予算（第8号）

7号補正予算の5万円の現金給付（先行給付金）に加えて、その後実施予定であった追加の5万円相当の給付についても現金で支給することとし、対象児童1人当たり10万円の臨時特別給付金を一括で支給します。

本会議
賛成全員
可決

88号
議案

93号
議案

新型コロナウイルス感染症対応策など

一般会計補正予算では、債務負担行為補正で新型コロナワクチンの3回目接種に必要な委託料などを追加し、多様な移動手段確保のためのAIオンデマンドバスの購入や、新型コロナウイルス感染症に対応する取り組みとして、コロナ禍における健康づくり促進事業、小・中学校のオンライン授業実施対応などの市独自策を盛り込みました。歳入歳出それぞれ **5億9,494万8千円** を追加する審議が行われました。

一般会計
賛成全員
可決
特別会計・
公営企業会計
賛成全員
可決

補正予算
(12月00日)

第4回
定例会

補正予算
ピックアップ

AIオンデマンドバス購入費
1,710万円

多様な移動手段確保のため

花鶴丘地域、日吉台地域においてAIオンデマンドバスの実証実験、実証運行に向けたバス3台の購入費。

補正予算
ピックアップ

体成分分析装置等購入費
488万9千円

コロナ禍における健康づくりの促進

コロナ禍における健康づくり促進のための体成分分析装置や、尿中塩分量簡易測定器の購入費など。

補正予算
ピックアップ

農業者に対する支援事業補助金
300万円

コロナ禍で価格低下の影響を受けた生産者へ

新型コロナウイルスにより価格低下の影響を受けた野菜等を生産する農業者に対する、園芸品目生産緊急支援事業補助金および地域の農地利用等に合う、形態の経営を継承した後継者に対する経営継承・発展等支援事業補助金。

補正予算
ピックアップ

小・中学校ICT化推進事業費
1,535万7千円

オンライン授業実施対応のための備品など

オンライン授業などで使用するカメラやクラス数の見込み増に伴うパソコン、電子黒板の購入費など。

令和4年 第1回臨時会(1月11日)

1号
議案

令和3年度古賀市一般会計補正予算(第9号)

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金等 **6億7,473万5千円**

国の制度に沿った住民税非課税世帯等への経済的支援策です。住民税非課税世帯および家計急変世帯に対し、1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を支給します。

※家計急変世帯：新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、住民税非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯

本会議
賛成全員
可決

第5次古賀市総合計画

基本構想

(案) これからの10年間の計画
第5次古賀市基本構想を審査

基本構想を審議



全体会の様子



市長に提言

第5次古賀市基本構想案の構成

第2編 基本構想

- 第1章 将来像
- 第2章 まちづくりの方向性
 - 1 基本指標
 - まちづくり指標(主観指標)
 - 想定人口(客観指標)
 - 2 土地利用構想
- 第3章 施策の大綱
 - 1 政策体系図
 - 2 基本目標ごとの政策・施策
 - 政策1-1 子育て支援の充実
 - 政策1-2 学校教育の充実
 - 政策1-3 つながりを深める学ぶ機会の充実
 - 政策1-4 人権と多様性の尊重
 - 政策2-1 地域保健の推進と医療との連携促進
 - 政策2-2 介護予防と高齢者福祉の推進
 - 政策2-3 障がい者福祉の推進
 - 政策2-4 地域福祉の推進と包括的支援の充実
 - 政策3-1 商工業・観光の活性化
 - 政策3-2 農林業の振興
 - 政策4-1 良好な都市環境の形成
 - 政策4-2 持続可能な公共交通の実現
 - 政策4-3 命と暮らしを守る対策の推進
 - 政策4-4 環境の保全と継承
 - 3 基本構想の推進のための指針
 - 政策5-1 基本構想の推進

第1分科会で審査

第2分科会で審査

第1編 序論

- 第1章 基本構想の策定にあたって
 - 1 策定の目的
 - 2 基本構想の期間と推進のための計画
- 第2章 策定の背景
 - 1 社会経済の動向
 - 2 古賀市の状況
- 第3章 分野別の現状と課題
 - 1 子育て
 - 2 学校教育
 - 3 青少年育成・スポーツ・文化・芸術・社会教育
 - 4 人権・男女共同参画・多文化共生
 - 5 地域保健・医療
 - 6 高齢者福祉
 - 7 障がい者福祉
 - 8 地域福祉・自立支援
 - 9 商工業・観光
 - 10 農林業
 - 11 都市基盤
 - 12 公共交通
 - 13 防犯・交通安全・防災
 - 14 環境
 - 15 コミュニティ活動・行政経営
- 第4章 重要政策課題
 - 1 人口減少社会の到来への対応
 - 2 産業構造の変化への対応
 - 3 社会経済状況の変化への対応

第5次古賀市基本構想審査特別委員会

9月27日

全体会

本委員会の運営、分科会設置の会議後、第1編の序論についての説明を受け、質疑を行いました。

その後、第2章の策定の背景の審査に入り、第3章の分野別の現状と課題については、「子育て」から「高齢者福祉」までの取り組み状況の質疑を行いました。

10月5日

全体会

第3章の「7障がい者福祉」から「15コミュニティ活動・行政経営」の取り組み状況の質疑に続き、第4章の重要政策課題、第2編第3章までの質疑を行いました。

10月12日～11月17日

分科会

第2編 第3章の基本目標ごとの政策・施策および、基本構想の推進のための指針の詳細審査を行うため、2つの分科会に分かれ審査を行いました。

第1分科会	奴間 健司 清原 哲史 内場 恭子 内平 晃二 平木 尚子 伊東 洋子 松島 岩太 紙谷 由香
第2分科会	福崎トビオ 古賀 誠視 中野 敦史 渡 孝二 吉住 長敏 竹下司津男 井之上 豊 森本 義征 村松 謙二



第1分科会



第2分科会

基本構想を審議

11月17日

全体会

各分科会からの報告書を基に、審査を行いました。

11月18日

全体会

総括質疑では、子育て支援施策、地域づくりの主体と行政の支援について、平和の取り組み、人口減少、少子高齢化による影響、まちづくり指標の評価、人口フレームについて等が取り上げられました。

11月24日

全体会

自由討議を行った後、討論・採決を行いました。反対討論では「都市イメージ」については相互関係がなく、まちづくり指標が曖昧」等の意見、賛成討論では「現状を分析し、納得できる到達点をめざそうとしている」等の意見があり、採決の結果、可決されました。後日、市民のために政策を進めることを強く求める提言書を市長に提出しました。

令和3年12月15日

古賀市議会議長 結城弘明

提言書

古賀市長 田辺一城 様

「第5次古賀市基本構想」に関する提言

市長におかれましては、市民福祉の向上や地域経済の活性化等、直面する課題はもとより、将来にわたって持続可能な市政運営に向け日々ご尽力頂いていることに敬意を表します。

さて、令和3年第3回定例会において提案されました「第5次古賀市基本構想（案）」については、特別委員会を設置し、継続審査付託を全会一致で可決いたしました。以降、第4回定例会での採決まで、実質14日間、特別委員会及び2つの分科会合わせて、計18回に及ぶ審査を行ってまいりました。この議案が、令和4年度から10年間の古賀市のまちづくりの最上位計画である「第5次古賀市総合計画」の基盤となることを全委員が踏まえ、熱心かつ集中した審査が行われたことは言うまでもありません。

審査の過程では、「都市イメージ」や「指標」の設定に懸念を示す意見がある一方、新型コロナ禍で策定に当たった職員の努力に対する評価や、今後のアクションプランに期待する意見等さまざまな意見が出されました。また、6人の委員が総括質疑として市長の見解を求め、活発な議論が展開されたことはご承知のとおりであります。

このような経過をたどり、特別委員会では、「第5次古賀市基本構想」に掲げられた「都市イメージ」や「基本目標」と、基本指標として示された「主観指標」と「客観指標」を達成するために必要な事項について取りまとめられましたので、古賀市議会として以下のとおり提言いたします。

1. 第5次古賀市基本構想審査特別委員会からの意見、提言については最大限尊重し、計画の遂行に当たっては、市民の福祉の向上が図られるよう反映すること。
2. 掲げられた「都市イメージ」の実現に向け、中長期的見通しに基づく効率的、効果的な財政運営に努めること。
3. 「まちづくり指標」については、基本構想に基づく各種政策や施策を総合的に評価するものである以上、中間年次に検証を行うとともに、アクションプランに示される「指標」の検証結果についても、毎年度、市民に分かりやすく示すこと。
4. 「想定人口」については、少子・超高齢化と人口減少が進むことから、人口の推移を把握し、各種施策の充実と併せ、福岡市近郊という特性を生かし、社会増をめざした効果的対策を講じること。
5. 恒久的な「平和」の堅持と「人権」の尊重は極めて重要であることから、本市におけるすべての施策や事業を進めていく際には、そのことを常に意識し取り組むこと。
6. 人口減少が進む中で取り組まれる「まちづくり」に、市民が主体的に関わることができる環境を整え、地域や自治会、行政区、校区コミュニティの活動がさらに活性化するように支援すること。

以上

令和3年 第4回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和3年11月30日~12月15日

号数	議案名	結果	奴間健司	福崎トビオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠規	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明	
82	第5次古賀市基本構想	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	専決処分(控訴の提起)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	古賀市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	古賀市国民健康保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	古賀市国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	古賀市道路構造の基準に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	令和3年度古賀市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	令和3年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	令和3年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	令和3年度古賀市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	令和3年度古賀市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	令和3年度古賀市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	古賀市と新宮町との乳幼児健康支援一時預かり事業に関する事務の委託に関する規約の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
95	市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
96	市道路線の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
97	市道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
98	令和3年度古賀市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

賛否一覧

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

令和3年 第3回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和3年12月17日

号数	議案名	結果	奴間健司	福崎トビオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠規	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明
99	令和3年度古賀市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 -は欠席 議員は議席番号順

令和4年 第1回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期:令和4年1月11日

号数	議案名	結果	奴間健司	福崎トビオ	清原哲史	内場恭子	古賀誠規	内平晃二	中野敦史	渡孝二	吉住長敏	竹下司津男	平木尚子	井之上豊	森本義征	伊東洋子	松島岩太	紙谷由香	村松謙二	田中英輔	結城弘明
1	令和3年度古賀市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

政策推進会議

会長 奴間 健司

気候変動（地球温暖化）について市長に政策提言

2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向け積極的取り組みを

2021年11月25日、ボンシティ宣言を発し、めることが求められて正副議長、政策推進会議正副会長は、市長に気候変動（地球温暖化）に関する政策提言書を提出しました。

これは約2年間にわたる政策推進会議の研修、議員間討議の成果を踏まえ、地球温暖化対策の積極的取り組みを求めたものです。

市長は、11月30日の本会議の場でゼロカーボンシティ宣言を提出しました。

2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロをめざすことを明らかにしました。具体的取り組みは来年度予算や地球温暖化対策行動計画に反映される見込みです。

地球温暖化問題はとも大きな課題ですが先延ばしできない切実な課題です。市民一人一人ができることから始めたいです。

2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロをめざすことを明らかにしました。具体的取り組みは来年度予算や地球温暖化対策行動計画に反映される見込みです。

地球温暖化問題はとも大きな課題ですが先延ばしできない切実な課題です。市民一人一人ができることから始めたいです。



政策提言書を提出(2021年11月25日)

政策推進会議の政策提言に至る主な経過	
テーマ選定	●2019年10月18日 ●「政策テーマ発表会」により「気候変動（地球温暖化）に対する対応」と決定
調査研究	●2019年12月18日～2021年4月20日 ●吉野市、粕屋北部消防本部、環境課、(株)正興電機製作所、市民活動家を講師に6回の研修会（コロナ対策で2回はオンライン開催）
合意形成	●2021年7月12日～2021年11月22日 ●地球温暖化対策に関する重要度調査、グループ討議などを踏まえ議員間の自由討議を積み重ねる
提言	●2021年11月25日 ●気候変動（地球温暖化）に対する対応に関する政策提言書を市長に提出 ※市長は11月30日、ゼロカーボンシティ宣言
「気候変動（地球温暖化）」に関する政策提言	
1.	ゼロカーボンシティ宣言を行うなど市としての姿勢や目標を明らかにすること
2.	4R運動推進や公共交通利用促進など市民の行動変容を促す周知・啓発に取り組むこと
3.	山、川、海とつながる特徴を踏まえ、プラスチックごみ削減運動を広げること
4.	公共施設をはじめ太陽光・蓄電池設置など再生可能エネルギーの導入を促進すること
5.	異常気象が引き起こす熱中症、土砂災害、暴風雨などに対する備えを促進すること

一部事務組合議会報告

議長 結城 弘明

玄界環境組合議会

令和3年11月8日第2回定例会

令和3年度決算認定、3年度補正予算が主なもの。2年度決算では歳入総額約29億6700万円、歳出総額22億2000万円を計上。主な歳出は古賀工場じん芥処理費15億5700万円、宗像工場11億3400万円、公債費1億2900万円です。歳入での古賀市経常費分担金は約4億7600万円。補正の主なものは燃料費高騰で9800万円を計上、それぞれ賛成全員で認定・可決。

古賀高等学校組合議会

令和3年9月28日第3回臨時議会

開催。古賀高等学校教育委員会委員の任期満了に伴い、後任に新宮町教育委員長の宮川優子氏を賛成全員で同意しました。

議。いずれも賛成全員で可決。

粕屋北部消防組合議会

令和3年5月17日臨時会開催

補正予算を審議。歳出は女性施設整備費約1560万円が計上され賛成全員で可決。

令和3年12月20日第2回定例会開催。一般会計補正予算、2年度決算。（歳入約11億2000万円、歳出11億2000万円）、休日診療所決算を審



ここが聞きたい！

—

一
般

質

問

質 問 席

①コロナ禍での移動の対策をどう考えるか ②市民の命を守る防災について	井之上 豊	9 ページ
①再生可能エネルギーの活用を ②「生理の貧困」の解決を ③西鉄宮地岳線跡地の道路化で市民の安全はどうなるのか	内場 恭子	9 ページ
①子ども、保護者の SOS を見逃さないで ②誰ひとり取り残さない社会をめざして	紙谷 由香	10 ページ
①隣接自治体との連携強化 ②旧役場跡地碑の建立を	吉住 長敏	10 ページ
①公共施設等の廃止・機能移転が市民にもたらす影響は ②切れ目のない子どもの見守り体制を進めるべきでは	伊東 洋子	11 ページ
浜大塚線の利用開始に当たっての課題は	古賀 誠視	11 ページ
選んでいただける古賀市へ	平木 尚子	12 ページ
①都市イメージについて ②駅前商店街の街路灯について	福崎トピオ	12 ページ

一般質問は、議員が市政全般について現状や方針を問うものです。
一人 30 分（答弁を含まず）の持ち時間で質問します。
掲載している内容は、質問した議員自身の責任でまとめたものです。
掲載は通告届出順です。

中継・録画は、
インターネットで
視聴できます





井之上 豊
(公明党)

コロナ禍での高齢者の移動と防災について

答 対策を講じながら実施できる活動を行う

議員 移動が困難な高齢者への対応は、

市長 西鉄バスを利用できる方は70歳おでかけバス、おでかけタクシーなどがあり、新たにAIオンデマンドバスの実証運行に向けて準備を進めている。

議員 3回目ワクチンの接種の申し込み体制、また、会場への移動は、

市長 1・2回目同様コールセンターへの電話予約および予約システムからの予約を予定している。

8月1日までに2回目接種が終わった方に対し予約設定調査を実施し、市に一任すると希望されれば、接種日・場所を設定し知らせる。また、避難行動要支援者の方で希望があれば、タクシー初乗運賃の補助・JR古賀駅とサンコスモ古賀間の無料バスを運行予定。身体状況により訪問接種体制も考える。

市民の命を守る防災について

議員 防災マップの完成時期は、

市長 令和4年3月を予定している。

議員 防災意識向上の施策は。また、現状と評価は。防災訓練はどう推進していくのか。

市長 市民の防災意識向上は重要と考える。総合防災マップの配布、

出前講座、防災訓練などの機会を捉えて啓発を行うとともに、広報紙、ホームページなどで情報を周知。令和2年以降は防災訓練の実施が困難な状況にあるが、感染対策を行い、講習会や出前講座、広報こがでの特集などで意識向上への取り組みを継続しているところ。

移動手段のひとつ「コガバス」



内場 恭子

太陽光発電と蓄電池の活用でCO₂削減を

答 再生可能エネルギーの普及、啓発を推進

議員 太陽光発電と蓄電池設置、その

市長 周辺環境へ配慮しつつ、太陽光

発電など再生可能エネルギー普及をめざした啓発を推進する。支援策は、国・県の動向を見ながら主体的に作っていく。

議員 再生可能エネルギーを活用する体制をつくってほしい。

公共施設トイレに生理用品を

議員 生理の貧困は、女性の健康や尊

厳に関わる重要な問題。生徒、女性が利用する学校や公民館、

市役所など公共施設のトイレに生理用品を無償配備すべきだが、

市長 生理の問題は女性の人権や尊厳

に関わる。生理用品を買い取ることができない場合や、急に生理が訪れたなど、女性特有の不安の解消の対応として、トイレへの用品配備は有効。本市でも配備していく。

議員 本市小・中学校の女子トイレで

は養護教員や先生の努力で生理用品を配置してある。素晴らしい取り組みだ。多目的トイレや

避難所となる体育館への配備も必要。検討してほしい。

議員 跡地の道路化で交通量のさらなる増加や渋滞が懸念されるが、

西鉄宮地岳線跡地道路化の問題

議員 古賀西、花見小学校周辺は生活

道路対策エリアに指定。国交省

のビッグデータを活用し生活道路の危険箇所があれば適宜対策する。

議員 道路化より、狭い道路や問題のある通学路の改善が先だ。

小野小・古賀東中女子トイレにもあるよ





紙谷 由香
(市民クラブ)

子ども、保護者のSOSを見逃さないで

答 子どもの見守りの在り方を検討中

見守り強化事業の現状はどのよう

に把握しているのか。

子育て支援課長 現在8件実施しており、

委託団体と月1回定例会を開催

し、状況を把握している。

議員 担当自身が、その世帯の生活

実態を調べることはあるのか。

子育て支援課長 必要に応じて訪問するこ

とがある。

議員 この事業には、地域の企業や農

家から支援も得られており、こ

れも成果と言えるのではないかと

市長 非常に良い成果だと思

議員 この事業こそ市と委託団体との

協働事業だと思

職によるアウトリーチは、行政

とNPOの協働事業だと思

市長の所見を。

市長 親として子どもとどう向き合

かという根本的なところは、公

として責任をもって支援を行う

必要がある。その支援の本質的

なところに課題が残る部分があ

ることを認識している。

誰ひとり取り残さない社会をめざして

議員 医療的ケア児の日常生活での保

護者の負担や、精神的ケアへの

支援はどうか。

市長 本市では医療的ケア児を看護す

るご家族の経済的・精神的負担

の軽減を目的に、医療的ケア児

の訪問看護に係る費用を負担す

る医療的ケア児在宅レスパイト

事業を実施している。今後も事

業周知および利用促進を図り、

安心して暮らせるよう努める。

「子どもたちに届け」宅配仕分け



吉住 長敏

旧役場跡地碑の設置を

答 席内村役場番地の特定は大変有意義

議員 古賀、新宮、福津3自治体の連

携を拡大する用意はあるか。

市長 デジタル庁の設置で基幹業務の

統一的な基盤整備が推進され、

デジタル活用で効率化を進める。

議員 3自治体は朝鮮半島との交流基

盤で共通する。自治体なりの国

の船頭的な役割に関し所見を。

市長 草の根的な交流はできると思

議員 船原古墳等、歴史的な善隣友好

関係で腐心する必然性で見解を。

教育長 今後、韓国訪問で共同研究

逆に招くこともあろう。絵を通

じた日中韓の民間交流もある。

議員 具体例で朝鮮通信使の島、相島

の学校留学、移住で協力しては。

教育長 区域外就学というのがある。

議員 国境の島、対馬に行かれ、朝鮮

交流の考察の出発とされたい。

旧役場跡地碑の設置を

議員 11月10日に皇石神社で確認され

た「席内村概覧」の評価は。

教育長 これまで不確定だった席内村

役場の番地が特定できたことは

有意義であり史料価値は高い。

議員 小野、青柳は設置済み。久保、

駅東に役場跡碑を設置しては。

市長 歴史の事実を後世に伝えること

は重要な観点。市民周知、石碑

を含めて検討していきたい。

議員 郷土読本と席内村概覧で一つの

謎が解けた。だが明治22年から

大正元年までの役場所在地は不

明と思うのだが。

文化課長 まだ特定できていない。

議員 家でいえば先祖供養だ、温故知

新をとともに認識しあいたい。

皇石神社の席内村概覧板書





伊東 洋子
(山海会)

公共施設の廃止・機能移転で市民への影響は

答 将来への負担を考え施設の在り方を検討

議員 平成26年、総務省は将来に向けて公共施設の老朽化、改修費用の増大による地方財政の悪化や人口減少などを想定し、各自

自治体に「公共施設等総合管理計画」の策定を要請した。古賀市でも40年間で公共施設の総延べ床面積20%削減を目標とする計画を具体化する「第1期アクションプラン(案)」が8月に示された。

このプランには、年間5万人以上が利用している千鳥苑・市民体育館も含まれている。市民への影響をどう考えるか。

利用者や地元の方に一定の影響は生じると考えるが、施設の目的に沿った利便性の維持・向上を図っていききたい。

多くの市民がこの計画が進められていることを知らない。市民に丁寧に説明し意見を聞き、計画を見直すべきでは。

なぜ今、この計画を進めるのか市民にも理解していただけるよう説明の場について検討する。

市長 切れ目のない子どもの見守り体制を進めるべきでは

議員 コロナ禍、子育てに悩む保護者が孤立しがちな状況にある。今年度から始まった、市と子ども支援団体が連携し実施している「支援対象児童見守り強化事業」を今後も継続すべき。

市長 次年度以降の子どもの見守りについては、当初予算編成の中で検討している。

多くの市民に利用されている千鳥苑

多くの市民に利用されている千鳥苑



古賀 誠視
(市民クラブ)

浜大塚線地下歩道の事故など緊急時の対応は

答 市に通報が入り警察に通報後現場へ急行

議員 地下歩道での犯罪など、緊急時や大雨などの浸水対策は。

市長 緊急時に押しボタンを押せば周回道路に3カ所設置の表示盤に「事故発生」と文字表示、サイレンが1分間吹鳴。大雨時は時間雨量100ミリに対応する排水ポンプを2台設置。冠水時には警報設備が作動し、表示盤に「冠水中、進入禁止」と文字表示。

議員 緊急時と同様にサイレンが1分間吹鳴、赤色灯が点灯し、市役所へ自動音声で通報が入る。

市長 国道495号線との交差点の歩行者の安全対策は。

議員 横断歩道は、T字交差点のため3カ所設置し、歩行者専用の信号機も設置する。

市長 地下歩道の防犯カメラの設置は4台、階段の進入口が死角になり、市民の不安の声もあるが。

総務課長 粕屋警察署などと現地調査を行い、4カ所に設置。増設に

ついては、今後検討していく。

議員 警察や青パトによる巡回は。

総務課長 新しくできた地下歩道であり警察に巡回を要請。青パトの巡回は、登下校の状況を鑑み検討。

議員 高架橋下の空きスペースなどに駐車場の確保の要望があるが。

市長 駐車場への活用を検討していく。

市民と地域の力で守ろう安全な地下歩道を





平木 尚子
(公明党)

選んでいただける古賀市へ

答 子ども、産業、健康、安心がまちの魅力

議員 子育て世帯へのさらなる支援に

ついて、産前・産後ヘルパー制度の利用者の声は。

市長 「近くに頼れる親族がおらずに

助かった」「兄弟児の世話をしてもらうことで育児負担が軽減された」などがある。多胎児については、通常産後1年の期間のところを1年半とし、回数についても年20回のところを40回としている。

議員 多胎児を持つお母さんは、家庭

内だけでなく、大型ベビーカーを使うなど、移動にも苦勞している。制度の利用範囲は広がらないか。

子育て支援課長 検討していきたい。

議員 子育て支援アプリ検討の進展は。

市長 マイナンバーと連携した他市町村の取り組みを参考に、検討を進めていく。

議員 高齢者の介護予防のこれからについて、地域になじめない方へ

の対応は。

市長 民生委員やシニアクラブ、福祉

社会など関係機関と連携しながら見守りや声掛けを行っている。また、地域の枠にとらわれず自分の趣味活動を活かす生きがいを持って自分らしく暮らすための学び、出会い、きっかけ作りの場として「リーパスカレッジ」や外出促進事業の情報を積極的に発信するなど、活動の場づくりの充実に努める。若者世代も魅力を持てるには、チルドレンファーストの考えは変わらない。

議員

市長

古賀市高齢者外出促進事業ルールブック



福崎 トビオ
(自由クラブ)

第5次総合計画の都市イメージについて

答 古賀らしさ、覚えやすいものを提案

議員 「ひと育つ かが育つ」とは。育ち

ち続けるまちとは。

市長 「こが」は市の名称や「子」など、

幅広くイメージする意図。それぞれの価値観で10年後に育つたと感じるよう取り組みたい。

議員 「こが育つ」は「古賀市」、「子」の

二つの意味を込めていると考えた。では、「ひと育つ」の「ひ」とは何か。

市長 まず、先行して「こが」を平仮名

にし、「人」も平仮名が柔らかさ、優しさを強めると考えた。

議員 「ひ」とは「日」。この国とともに

古賀市で生きていく誇りと責任。まちづくりは国づくり。そんな思いを込めて、「人」が育つ、「日本」と育つと考えたが。

市長 古賀市、福岡県、地域が発展し

ていくことは、この国家を豊かにするためのものでもある。議員の想起は非常に意義があり共有している。

商店街の街路灯について

議員 2年前の一般質問後の対応は。

市長 対応する場をつくってはいない。

議員 街路灯撤去後、暗い通りになる

不安に対し、計画や考えは。

市長 中心市街地が暗くなることは重

要な課題。課題解決が図れないか考えていきたい。

議員 解決に向けて動き出すか。

市長 課題を解決すべく、取り組んで

いきたい。

議員 都市イメージに託した市長の思

いを、職員が補いながら、このまちが育つていくため、市民を支えていってけると期待する。

これから10年の私たちのまち



総務

委員会

10月25日

委員長 内平 晃二
 清原 哲史 吉住 長敏
 副委員長 井之上 豊
 村松 謙一 田中 英輔

デジタル推進課のデジタル化事業とは

問 取り組んでいるデジタル化の内容は。

答 紙やアナログの資料をデジタル化していくデジタルイゼーションを主に行っており、例えば、AI-OCRで紙の申請書を読み取ってデータに起こす作業。加えて、入力作業の自動化(RPA)においては、すでに供給元の選定作業を行っている。

問 RPAを行うのは何の入りか。具体的に。

答 例えば源泉徴収のデータは現在、手作業で入力している。データであれば、パソコンで自動操作入力できる。その作業で人手が要らなくなり、夜間にも実行できるようになると考えている。ほかに予診票を健康カルテに自動入力させることも検討中。

デジタル推進課

投票時間の変更について

問 投票時間が変更されたが、その周知は。

答 区長会での報告、ホームページ、折り込みチラシおよび入場整理券はがき等で午後8時までに変更されたと強調表示している。当日はホームページ、dボタン、防災無線および防災メール等で午後8時まで投票可能と周知。

問 短くなったときには調査をしたが、今度はどうするか。

答 今のところ特別な調査は考えていない。実際の投票状況を参考にする。これらはシステムで把握できるので、今後、選挙管理委員会で検討していく。

※10月31日の衆議院議員総選挙から投票時間が午後8時までになっています。

総務課

校区コミュニティの今後は

基本方針の見直しに向け、これまでの方針に代わる新たな基本方針を各校区コミュニティ関係者に説明に回っている。

指針(案)では、コミュニティ活動に対する市の支援の在り方について幅広く支援する方法を検討するという方針を示している。活動の類型や組織のありように関係なく、市民が応援したい、支援したいといった活動について、例えば校区コミュニティを設置していない校区で自治会同士が取り組む活動、市民活動団体と自治会が共働して取り組む活動、これまで形としてなかったさまざまな活動の形についても、市民の声を反映できる制度や支援の在り方の検討を今後進めていきたい。



まちづくり推進課

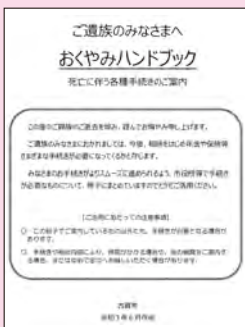
おくやみ案内について

問 おくやみ案内の制度について市民からの評価は。

答 直接アンケートはしていない。窓口での聞き取りでは、予約が3日前までなので、急いでも場合は当日でも案内してもらいたいとの要望がある。遠方の方などもある。要望になるべく沿った形で対応している。

問 ワンストップで完了できる「おくやみ案内」は市民サービスとして、非常にいいアイデア。どれぐらいの短縮になるか。

答 受付後に各窓口をリレーでつないでいく方式を取っている。正確にはワンストップとはやや異なる。しかし、事前に受付、予約が入った段階で、各窓口情報が行き準備ができています。市民の負担はかなりの少ない形で案内ができています。



経営戦略課

文教厚生

委員会

10月19日
11月4日

委員長	平木 尚子	顧問	奴間 健司
副委員長	伊東 洋子	福崎 トビオ	
		松島 岩太	
		紙谷 由香	

子どもの教育環境整備

問 学校設備整備の要望把握について。

答 定期的に工事要望を各校からもらっており、早めに対応できるものは補修修繕、大きな改修については大規模改造工事に合わせるなど対応している。

問 特別支援学級増加の対応について。

答 学校教育課と連携をとり、クラス数などの情報提供があるので各学校の要望を取り入れながら、学びの環境を整えるよう対応していく。



教育総務課

文化・図書館事業

問 緊急事態宣言中の時こそ図書館を開館してほしいとの声があるが。

答 真摯に受け止めたい。開館・閉館についてはコロナウイルスの感染予防を第一として決定。今後は柔軟な対応が可能になるかもしれないがその時の状況による。

問 学校司書の継続性と地域とのつながりについて。

答 学校司書については年度単位での任用となっているが、比較的継続して任用されている司書もいる。地域とのつながりは程度の差はあるが、ゼロではない。



文化課

子育て支援の充実

問 つどいの広場をセーフティネットとして、子育て世代を応援する居場所として考えることは。

答 状況を見ながら検討していくが、現時点では現状維持しながら感染対策を行い、利用できる場を作っていく。

問 児童権利擁護事業について。

答 支援を受け入れる件数は少ないが、増える分にはどんどんやっていきたい。

問 子ども家庭係の中で成人相談件数の増加があるが、背景として福祉相談係の対象とどう違うのか、対応スタッフは十分か。

答 子ども家庭係の相談はひとり親が主な対象。福祉相談係は生活困窮や高齢者の問題を主に扱っている。対応スタッフは、児童相談所の職員とも情報共有をして取り組んでいる。

子育て支援課

健康促進事業

問 ヘルスアップぶらんに掲げた評価指標を達成するための課題や取り組みは。

答 コロナウイルスの関係で学校現場に入らず、養護教諭と情報交換はしていたが、周知啓発で終わったり、健康測定も小野小学校以外ではできなかった。

問 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、つどいの場になかなか来ない高齢者の男性へのアプローチは。

答 測定会や健康などに関して関心がある事に少しずつ来てもらうような取り組みをしていく。地域とつながる必要性も合わせて伝える。



健康介護課

市民建産

委員会

10月21日
22日

委員長	古賀 誠視	中野 敦史
副委員長	渡 孝二	森本 義征
内場 恭子	竹下 司津男	

ゼロカーボン

シティ宣言について

問 どの点に力点を置いて進めていくのか。

答 環境省のゼロカーボンシティ宣言「2050年度の脱炭素（ゼロカーボン）をめざす」との文言があり、古賀市の宣言にも同様の文言を入れた上で、全国的な流れや古賀市の状況も含めて検討していく。

JR千鳥駅の

東口開発について

問 いつまでには完成させたいという計画があるのか。踏切周辺の狭い道路の整備も含め実施されるのか。

答 JR千鳥駅東口整備のスケジュールについては、交付金が決定し事業が開始された時に設計に入ることになり、その次年度あたりに工事の着手を考えているが、踏み切り周辺の整備は今のところ考えていない。



環境課



建設課

マイナンバーカードについて

問 10月20日から健康保険証として使えるようになったが、古賀市では専用ポータルサイトを使得て利用できる医療機関はどれくらいあるか。またメリットとデメリットは。

答 現在、市内でマイナンバーカードを保険証として使える医療機関は、内科が1件、歯科が3件、調剤薬局が4件で、ほとんどの医療機関ではまだ使えない。メリットは入院した際に高額療養費等の対象になった場合、限度額適用認定証の申請なしに自動的に窓口では限度額までの支払いとなること。デメリットは健康保険証とマイナンバーカードを連動させる際に初回登録などの手間がかかる。



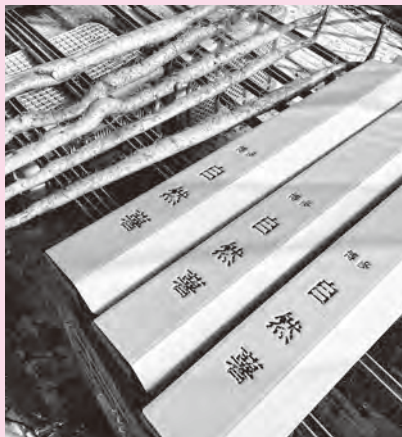
市民国保課

新規就農者チャレンジ支援事業について

古賀市クラウドファンディング型で、新規就農者チャレンジ支援事業として新規就農者の「博多自然薯プロジェクト」および女性農業者チャレンジ支援事業として「ドライフラワー再生事業」の2つの事業についての報告がありました。

問 「古賀自然薯」でなく、「博多自然薯」なのはなぜか。

答 生産者が博多自然薯として商標の登録を申請中であり、いずれは古賀自然薯にしたいと思うが、まずは博多自然薯というネーミングで挑戦をしたいとのこと。



農林振興課

古賀市議会 議会報告会

令和4年 4月16日(土)



リーパスプラザこが交流館
多目的ホール 15:00▶17:00



新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から日程等の変更または中止の場合がございます。

主催：古賀市議会 お問い合わせ：古賀市議会事務局 092-942-1134

第4回定例会の傍聴者は24人でした。
ありがとうございました。
令和4年第1回定例会は2月21日（月曜日）開会
予定です。

インターネットによる中継・
録画配信も行っています。
ご利用ください。



古賀市議会の中継・録画は

古賀市議会

またはQRコードで検索してください。



中継・録画

古賀市議会 HP

スマートフォン、
タブレットにも
対応しています。



23	18	16	15	14	10	8	7	4	3	3/2	28	25	2/21	日
水	金	水	火	月	木	火	月	金	木	水	月	金	月	曜
本会議（最終日）	予算審査特別委員会⑤	一般質問	一般質問	予算審査特別委員会④	予算審査特別委員会③	予算審査特別委員会②	予算審査特別委員会①	補正予算審査特別委員会 予算審査特別委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	本会議（2日目）	本会議（初日）	会議名
開議時刻は全て9時30分～														

注）会期日程は、2月16日（水）の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。
◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。
（本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席ですがコロナ禍により減席しています）
◎請願書の締切りは2月14日（月）午後5時です。

令和4年 古賀市議会
第1回定例会会期日程（案）
会期 2月21日～3月23日 31日間

議会報編集常任委員会
委員長 福岡トビオ
副委員長 平木尚子
委員 清原哲史
内平晃二
竹下司津男
紙谷由香

中国起源と言われる
疫病の世界的流行から
2年がたちます。
オミクロン株の出現
もあり、原稿を書いて
いる1月13日現在感染
者は爆発的に増加して
います。そして、経済
的困窮、社会的孤立な
どで人々や社会が心身
ともに病んでいます。
アフターコロナと言
われて久しいですが疫
病をただ恐れるのでは
なく、私たちが生きて
いく上でどう捉えるべ
きか向き合う必要があ
ります。（内平）

編集後記

表紙の言葉
榎田神社のしめ縄を
作り続けてきた農家さ
んは一最後の一人。年
齢的に今年が最後か
も。今後は他県から購
入することになるのか
な」とさみしそくに話
されました。

